

2013 年度立命館大学校友会東日本大震災復興支援事業東北応援ツアーレポート

参加コース:B 宮城県コース

参加者氏名:高畑真美

卒業年:2005 年

卒業学部:経営学部

「現地を訪問して思うこと」

今回、現地を訪問して一番印象に残っているのは、まだまだ震災は終わっていないんだ。という自分自身から湧き上がる感情でした。そして、何もなく、ただただショベルカーやトラック、土木工事が行われている現場の生暖かい、そしてひんやりとした、なんとも言えない物悲しい空気でした。

大震災があった。確かに過去にはありました。津波も来た。ええ、私は TV で見ていました。でも、現地を訪れるまではそれらのことは過去のことになってしまっていて、活字でどれだけ読んでいても胸に迫ってくるものではありませんでした。

今回、校友会通信りつめいに同封されていた復興支援ツアーに勇気をもって応募しました。そしてツアーに参加させていただき、現地を見ました。本当に参加してよかったと思います。現地の空気は、私の想像をはるかに超えていました。

2年8ヵ月経ちました。しかしまだまだ震災は終わっておらず、復興は始まったばかりです。私は今 30 代ですが、今後 10 年、20 年というスパンで長期的にかかわっていかなければいけません。責任と世代を背負う覚悟をもって一時代を築いていかなければなりません。その自覚と覚悟を持つに十分値する体験だったと思います。

今回のツアーに参加し、ますます母校立命館のことが好きになりました。

ツアー内容は大変充実しており、母校立命館大学が、学園挙げて復興に取り組んでいることが非常によく伝わってきました。課題に対し俊敏に対策を経て実行する。このスピード感あふれる立命館大学が大好きです。

どうぞ、校友の皆様には、東北の実態を知っていただきたいと思います。

そして、立命館大学の取組を応援していただきたいと思います。

私も微力ながらも地方で精進し、日々過ごしていきたいと思います。

参加させていただき、本当にありがとうございました。